

私

県は、岐阜行政棟と議会議棟と議会の機能が求の東側の駐車場に建設する計画と聞いています。私たちが一般国民には何も伝わってきませんでした。いま、急

高木 光

補強工事で駄目なのでしようか。岐阜県の借金も1兆5200億円にまで増やし続けています。古田県政はさらに借

田野氏は「将来的には用や代替が不可欠になる開発された技術との併るだろう」と話した。

### レーダー搭載車が老朽化診断

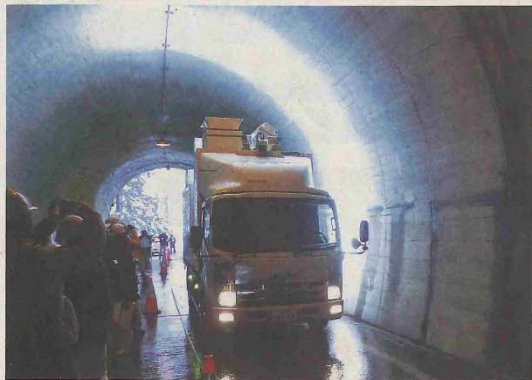
## トンネル検査に新技術

本県で試験

非接触型レーダーを搭載した車両を走らせながらトンネル内部の欠陥を診断する技術の実地試験が、本県市根尾小鹿の小鹿トンネルで行われた。交通規制が不要で、トンネルの利用者に与える不便の解消や、点検作業時間の短縮などが期待できる。(松田尚康)

### 作業効率化を目指す

内閣府の「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)」事業(岐阜市柳戸)が実施した。東京都内の建設



トンネルのコンクリート壁の欠陥を走行しながら検査する車両＝本県市根尾小鹿、小鹿トンネル

コンクリート壁の表面のひび割れなどを調べる画像撮影、トンネルの形状と壁面の凹凸を計測するレーザ、内部の欠陥を探索するレーダーという三つの技術を搭載した車両を走らせ、得た情報を3次元化し異常を把握する。レーダーでは壁面から3センチほど離れたところでも探査でき、三つの技術の組み合わせは国内初という。

トンネルは法の規定

コンサルタント「パシフィックコンサルタンツ」などでつくる共同研究グループが開発し、新年度の実用化を見込む。

5年に1度、近接目視や打音検査でコンクリート壁の浮きや剥離、空洞などの有無を確認、補修し、安全性を保っている。

全国各地のトンネルを検査するには多くの時間や費用、技術者が必要。岐阜大工学部の客員教授、羽田野英明

氏は「表現化すると、車両による点検で異常のあった箇所のみを打音検査などで調べられ、効率化できる。交通規制の時間は、従来の3分の1から5分の1程度に抑えられるのでは」と指摘する。

実地試験は国や県、建設会社、大学などの関係者約40人が見守る中で行われた。車両の計測後、空洞を検知した箇所を高所作業車に乗った技術者が、接触型レーダーと打音検査で有無を確認した。羽

## 岐阜大病院、後払いOK

### 外来患者対象にサービス

岐阜市柳戸の岐阜大病院は26日、外来患者を対象に、今月から医療費の後払いサービスを導入した、と発表した。事前に登録すれば口座から後日引き落とされ、会計で長時間待たずに帰ることができると、中部9県の大

学病院では初めてという。同サービスの利用者は診療後、会計コーナーに設けられた優先窓口へ寄り、確認のみで支払いをせずに帰宅可能。当日現金の持ち合わせがなくても受診できるメリットもある。

ソフトバンクのスマートフォンやタブレット上で登録でき、即日利用可。診療費は携帯料金とまとめて引き落とされる。それ以外の人は病院に備え付けの用紙で申し込み10日前後で利用可能となる。

いづれも1回100円(税別)の利用料がかかる、用紙での登録

岐阜市丹生川町のほぎかチャン、ほおのき平スキー場、大会実行委員会主催、高山市同市教育委員会、県スキー連盟、飛騨乗鞍観光

高山市丹生川町のほぎかチャン、ほおのき平スキー場、大会実行委員会主催、高山市同市教育委員会、県スキー連盟、飛騨乗鞍観光

大会運営や競技スケジュールを話し合う関係者＝岐阜新聞・岐阜放送ひだ高山総局

地震防災、避難所 県計画改定 昨年4月の熊本地震の教訓を踏まえ、見直しが進められている第3期県地震防災行動計画の改定案が26日、県庁で開かれた第3回検討委員会で示された。